

パソコンは消耗品ですか？

われわれは、日々、パソコンやいろいろな機器に組み込まれたコンピュータに囲まれて生活しています。診療、医療事務、通信、会計事務、労務管理、などなど、コンピュータ無しでは、たちまち支障をきたします。

コンピュータのハード、ソフトともに進歩は著しく、パソコンをとってみても、年ごとに新型が売り出され、ますます高機能化し小型化しています。特に、基本ソフト（OS）は2～3年ごとにバージョンアップされますが、そのたびに新型に買い換えていたら大変です。パソコンメーカーとしては、売り上げを確保していかなければならないので、次々に新型を発売するのはやむを得ない事情なのでしょうが。

1. パソコンは消耗品ですか？

パソコンは「機械」ではありますが、使い続けるうちに、愛着がわき、大事に長く使っていきたいという気持ちになります。たとえばレセコンですが、一日の診療を終えて電源を落とすとき、「今日も一日、ご苦労さん」と心の中で声をかけてあげます。

私の経験ですが、毎日のようにいろいろな作業に大変重宝に使っていたパソコンが、ある日、突然動かなくなることが二度ありました。一度は、ハードディスクドライブの故障で、いろいろ手を尽くしましたが回復せず、やむなく新しいパソコンに買い換えました。もう一度は、ある日突然、電源スイッチがはいらなくなり、結局、電源装置の故障と判明しました。製造メーカーに問い合わせましたが、製造から7年たった時点で部品の供給は終了している、とのことで結局修理をあきらめて、新しいパソコンを買いました。このときは、ハードディスクは問題なかったのでも、メモリーを取り出すことができました。

パソコンというものは、ハードディスクにしても電源装置にしても、中枢部分に致命的故障が起こってしまうと、その部分を新しい部品で取り替えられればよいのですが、それができないと、ほかの部分が全く問題なく機能していても、そのパソコンはもうダメなんですね。非常にもったいない気持ちですが。

2. 大事に長く使いつづけたいものもある。

故障しなくて長年使い続けているパソコンも、あります。OSが、Windows 98のパソコンで、もう十数年使っているものがあります。住所録の管理が主な役目で、取り付けてある大きいプリンターで、宛名ラベルの連続用紙が使えるので、いまだに現役で働いてくれています。

また、もう20年ぐらい使っているワープロ専用機；東芝「ルポ」も、現役で働いています。これのすぐれている所は、電源スイッチをいれるとわずか2秒で、画面が立ち上がって使えるようになることです。診断書、証明書、などの定型文を作るのに、大変重宝に使っています。プリンター内蔵なので、印刷も簡単にできます。

これらの機能は、今時の高性能パソコンを使えば、1台ですべてまかなえることと思います。しかし、いまだにそれぞれがちゃんと役目を果たしているし、使い慣れて愛着があるので、故障しないかぎり使いつづけたいと思っています。

3. 長期使用を困難にする事情

しかし、長年愛用してきたパソコンやプリンターが、故障ではないのに使えなくなる事情もあります。宛名ラベルの連続用紙を印刷している大きいプリンターが、インクカートリッジが製造中止となってしまいました。OA用品の通販会社が扱わなくなってしまい、メーカーに問い合わせたら製造を終了したということでした。秋葉原でOA用品を扱っているお店を何軒かあたりましたが、ダメでした。最後にインターネットで「楽天市場」に出店しているお店を調べたところ、ようやく目当てのインクカートリッジの代替品を入手でき、もうしばらくは使い続けられることになりました。

また、ワープロ専用機についても、インクリボンが問題です。今のところ、事務用品の通販で手に入れられていますが、いつか製造が終了するのではないかと心配です。

このように、ハードは問題なくても、消耗品の供給終了という事態が怖いのです。たとえ製造から年数がたっていても、少数ながらもユーザーがいる限りは、消耗品の供給を続けてほしいものです。販売店の店頭においてなくても、ネットで注文できるようにはしてほしいものです。

4. 壊れたら買い換えるか、早めに取り替えていくか

パソコンの中枢部が壊れたらアウト、ハードディスクドライブが壊れてもアウト、そういう点ではパソコンとは実にもろいものですね。メモリー退避を心がけながら壊れるまで使うか、ある程度使ったら壊れる前に買い換えるか、考え方の分かれるところです。

5. 日本人の気質にあったパソコンを！

物を大事にして、丁寧に扱い、愛着を持って長く使っていきたい、という日本人の気質に合った、「日本人の、日本人による、日本人のための」パソコンはできないものか？ ワープロ専用機もなかなか捨てがたい魅力がありますし。必要な機能があれば、あまり高性能を追求しなくてもいいし、頻繁なモデルチェンジやバージョンアップも無い方がいい。極限までコンパクトにしなくていいので、フロッピーディスクドライブ（FDD）も付けておいてくれるとありがたいです。むしろ、部品や消耗品を長く供給してくれて、アフターサービスをしっかりしていただければ、安心して長く使えてありがたいのです。

6. 1台に集中するか、分散するか？

現在のパソコンは、デスクトップでも、ノートパソコンでも、非常に高性能になってきて1台でいろいろな作業ができるので、1台で何役もの働きが可能です。ですが、1台にたくさんの機能を集中させてしまうと、急に壊れたときに困ってしまう。日常的にメモリーを退避させておいて、新しいパソコンにメモリーを移せばいい、という理屈はわかりませんが、実際、新しいパソコンに買い換えた場合、元の状態に復旧させるのは結構手間がかかるものです。新しいOSに、古いソフトやメモリーが適合できないようなケースもあり得ます。

7. 愛着があり使い慣れたワープロやパソコンに囲まれて

1台のパソコンですべてが間に合うのも良いでしょうが、私としては、置き場所が許さ

ば、古いパソコンやワープロ専用機でも使い道がある限り、使えるうちは使っていきたいと考えます。複数の機器があるということは、バックアップがあるということでもあります。一つ一つの機器に「愛称」を付けて、それぞれの調子をみながら使い回していく、それはそれで楽しいことでもあります。 (2012年10月)